

愛媛県内の高齢者虐待対応の状況

1 養介護施設従事者等による高齢者虐待の対応状況

① 相談・通報件数と虐待件数

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
市町への相談・通報	15	34	23	23	43
そのうち虐待判断	4	13	12	18	22
県が直接、相談・通報を受理	0	0	0	0	0
そのうち虐待判断	0	0	0	0	0

※虐待判断件数は、当該年度内に通報等を受理した事例及び当該年度より前に通報等を受理し、
事実確認調査が当該年度となった事例について集計

② 相談・通報者の内訳（市町への相談・通報 重複あり）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
本人による届出	0	0	0	1	0
家族・親族	2	2	4	6	9
当該施設・事業所職員	6	12	4	11	14
当該施設・事業所元職員	0	3	4	0	5
当該施設・事業所管理者等	1	5	4	4	16
医療機関従事者（医師含む）	0	0	1	1	0
介護支援専門員	1	3	0	0	6
介護サービス相談員	0	0	0	0	0
地域包括支援センター職員	0	1	0	0	1
社会福祉協議会職員	1	1	0	0	0
国民健康保険団体連合会	0	0	0	0	0
県から連絡	0	0	0	0	0
警察	0	2	0	2	0
その他（市町職員含む）	2	4	7	2	4
不明（匿名を含む）	3	5	0	1	0

※当該年度に通報等を受理した事例について集計

③ 事実確認の対象となった養介護施設・事業所

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
特別養護老人ホーム	1	2	4	1	7
介護老人保健施設	0	2	0	4	6
介護医療院・介護療養型医療施設	0	1	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	1	4	2	6	14
（住宅型）有料老人ホーム	1	0	1	1	6
（介護付き）有料老人ホーム	0	0	1	3	1
小規模多機能型居宅介護等	0	0	0	1	2
軽費老人ホーム	0	1	0	0	1
養護老人ホーム	0	2	0	0	0
短期入所施設	0	1	3	1	2
訪問介護等	0	0	0	0	1
通所介護等	1	0	1	0	3
居宅介護支援等	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0

※当該年度に虐待と判断された事例についての施設の種別

(4) 令和6年度に虐待判断された事案

○事案1

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 80歳代 要介護2
虐待の類型	身体的虐待、心理的虐待
虐待の内容	強引な介助、不適切発言、スピーチロック
市町が行った対応	指導
施設・事業所が取った対応	全職員に対する研修の実施等

○事案2

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 管理職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護3
虐待の類型	身体的虐待、心理的虐待
虐待の内容	強引な介助及び利用者の行動抑制
市町が行った対応	指導
施設・事業所が取った対応	全職員に対する研修の実施等

○事案3

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	特別養護老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	女性 65歳未満 要介護5
虐待の類型	心理的虐待
虐待の内容	利用者への侮辱的発言
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案4

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	特別養護老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	男性 90歳代 要介護4
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的行為
市町が行った対応	指導
施設・事業所が取った対応	虐待防止委員会での改善策の検討、実施等

○事案 5

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護5
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的行為
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案 6

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 80歳代 要介護4
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的行為
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書提出

○事案 7

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護2
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	身体拘束（長袖の先を縛る。）
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案 8

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	看護小規模多機能型居宅介護 看護職
被虐待者の状況	男性 80歳代 要介護2
虐待の類型	経済的虐待
虐待の内容	利用者から金銭を授受
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案9

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	介護老人保健施設 介護職
被虐待者の状況	女性 80歳代 要介護4 女性 90歳代 要介護4
虐待の類型	身体的虐待、心理的虐待
虐待の内容	身体拘束（毛布の巻き付け）
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案10

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 管理者・計画作成担当者
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護度不明
虐待の類型	心理的虐待
虐待の内容	利用者への威嚇的・侮辱的な発言、態度
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案11

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 60歳代 要介護1 女性 70歳代 要介護4 女性 90歳代 要介護5
虐待の類型	身体的虐待、心理的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的行為、暴言、強要
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案12

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	特別養護老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	女性 70歳代 要介護4
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的行為
市町が行った対応	指導
施設・事業所が取った対応	職員との定期面談、勉強会開催等

○事案13

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	特定施設入居者生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護4
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的行為
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案14

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	介護予防通所リハビリテーション 介護職
被虐待者の状況	女性 80歳代 要支援2
虐待の類型	経済的虐待
虐待の内容	利用者から金銭を借用
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案15

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護3 男性 80歳代 要介護3
虐待の類型	身体的虐待、心理的虐待
虐待の内容	利用者に対する恫喝、暴力的行為
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案16

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	訪問型サービス 介護職
被虐待者の状況	男性 70歳代 要介護3
虐待の類型	経済的虐待
虐待の内容	不適切な利用者預金の入出金、金銭受領
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案17

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	介護老人保健施設 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護5 女性 80歳代 要介護4 女性 70歳代 要介護5 女性 80歳代 要介護2
虐待の類型	身体的虐待、心理的虐待、介護等放棄
虐待の内容	利用者への暴力的行為、暴言、介護放棄
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案18

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	特定施設入居者生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 80歳代 要支援1
虐待の類型	心理的虐待
虐待の内容	利用者への脅迫行為
市町が行った対応	虐待防止委員会議事録提出依頼、指導
施設・事業所が取った対応	第三者委員を交えた虐待防止委員会開催

○事案19

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 事業所全体
被虐待者の状況	女性 80歳代 要介護4
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	身体拘束（Y字ベルト装着）
市町が行った対応	改善勧告の実施
施設・事業所が取った対応	改善報告書提出

○事案20

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	住宅型有料老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護5
虐待の類型	性的虐待
虐待の内容	複数の性的虐待行為
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案21

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	特別養護老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	女性 60歳代 要介護3
虐待の類型	身体的虐待、心理的虐待、介護等放棄、性的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的行為、セクハラ行為、利用者からの呼び出しを放置
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案22

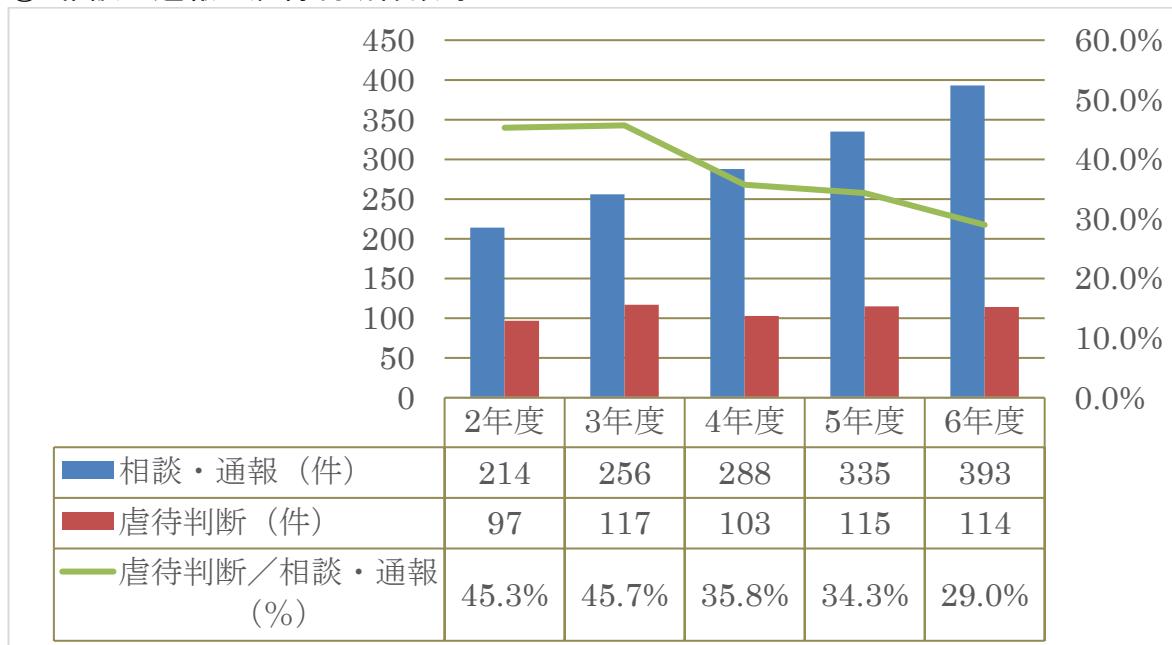
施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	短期入所生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 80歳代 要介護3
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的な行為、強引な介助
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

⑤ 虐待の発生要因（複数回答）

内容	件数	割合 (%)
教育・知識・介護技術等に関する問題	7件	26.9
虐待を助長する組織風土や職員間の関係の悪さ、管理体制等	6件	23.1
倫理観や理念の欠如	5件	19.2
虐待を行った職員の性格や資質の問題	4件	15.4
職員のストレスや感情コントロールの問題	3件	11.5
人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ	1件	3.8

2 養護者による高齢者虐待の対応状況

① 相談・通報と虐待判断件数等



※虐待判断件数は、当該年度内に通報等を受理した事例及び当該年度より前に通報等を受理し、
事実確認が当該年度となった事例について集計

② 相談・通報者

	介護支援専門員	介護保険事業所職員	医療機関従事者	近隣住民・知人	民生委員	被虐待者本人	家族・親族	虐待者自身	当該市町村行政職員	警察	その他	不明(匿名含む)	合計
人数	67	61	8	12	1	14	26	4	18	182	18	0	411
構成割合(%)	16.3	14.8	1.9	2.9	0.2	3.4	6.3	1.0	4.4	44.3	4.4	0.0	100.0

※当該年度に通報等を受理した事例について集計
構成割合は、相談・通報者の合計人数に対するもの

③ 虐待の種別・類型

	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	合計(累計)	合計(人数)
人数	85	27	39	0	20	171	115
構成割合(%)	73.9	23.5	33.9	0.0	17.4	-	-

※当該年度に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

【過去5カ年度の推移】

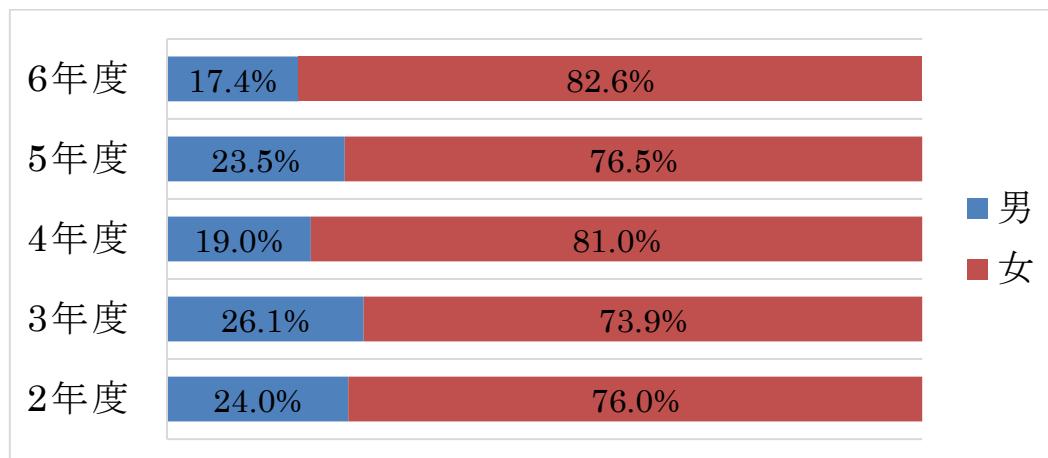
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
身体的虐待	80.0%	74.8%	79.0%	72.3%	73.9%
介護・世話の放棄・放任	9.0%	11.8%	11.4%	18.5%	23.5%
心理的虐待	38.0%	34.5%	34.3%	41.2%	33.9%
性的虐待	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%
経済的虐待	11.0%	16.0%	18.1%	16.8%	17.4%

※当該年度に虐待と判断された事例の被虐待者の実数に占める各虐待類型の人数の割合

④ 被虐待高齢者の性別

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
被虐待高齢者的人数	100	119	105	119	115
男	24	31	20	28	20
女	76	88	85	91	95
不明	0	0	0	0	0

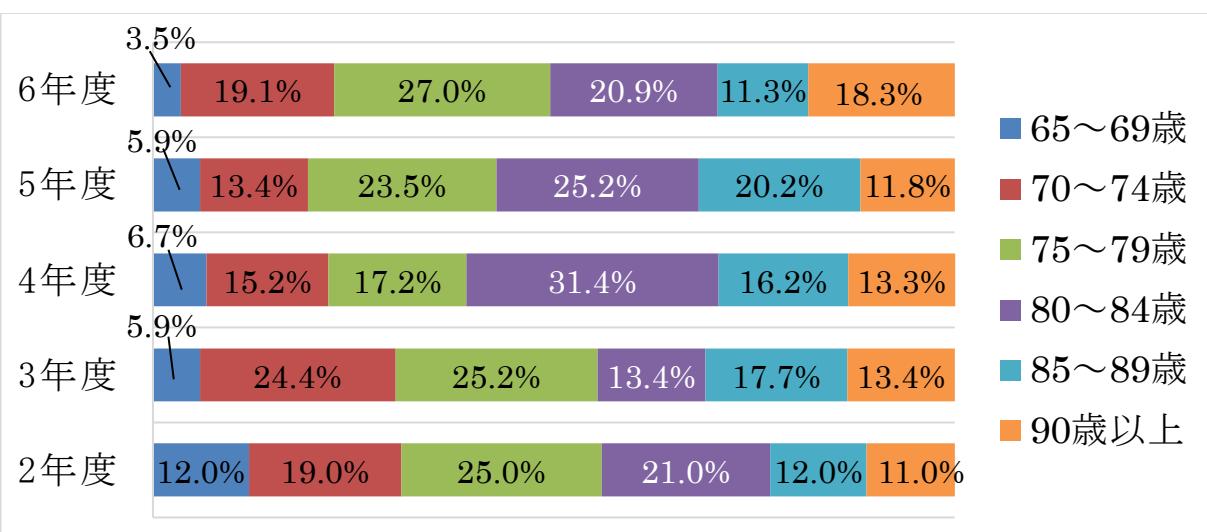
※当該年度に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計



⑤ 被虐待高齢者の年齢

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
被虐待高齢者的人数	100	119	105	119	115
65～69歳	12	7	7	7	4
70～74歳	19	29	16	16	22
75～79歳	25	30	18	28	31
80～84歳	21	16	33	30	24
85～89歳	12	21	17	24	13
90歳以上	11	16	14	14	21
不明	0	0	0	0	0

※当該年度に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

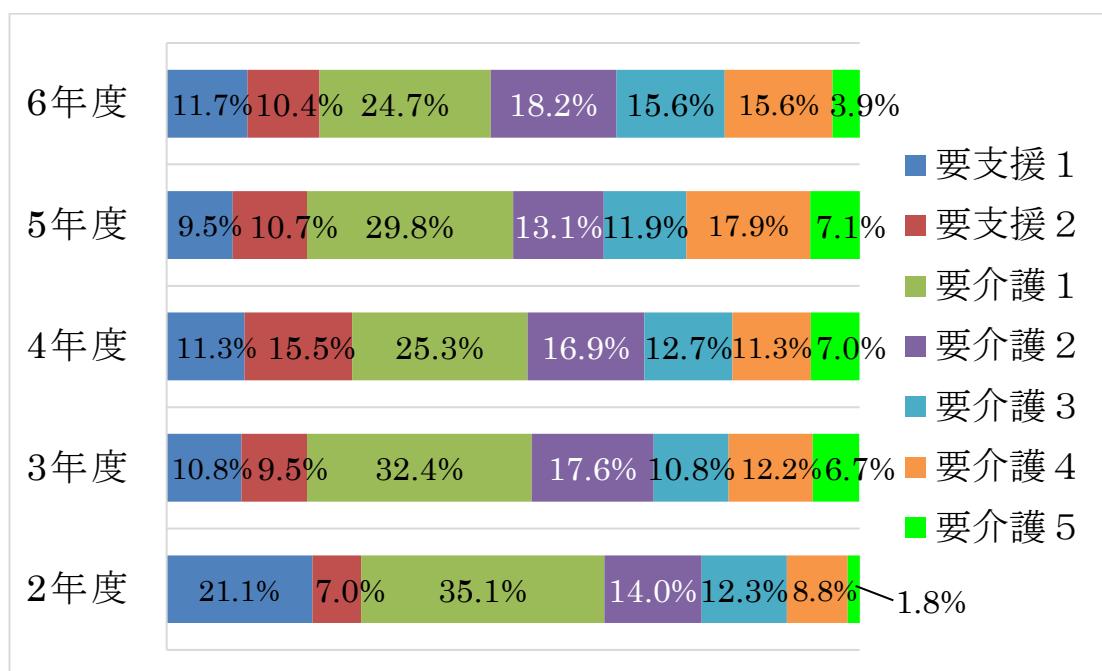


⑥ 被虐待者の介護保険の申請

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
被虐待高齢者的人数	100	119	105	119	115
未申請	41	44	33	26	32
申請中	2	0	1	4	4
認定済み	57	74	71	84	77
認定非該当（自立）	0	1	0	5	2
不明	0	0	0	0	0

⑦ 介護保険認定済者の要介護度

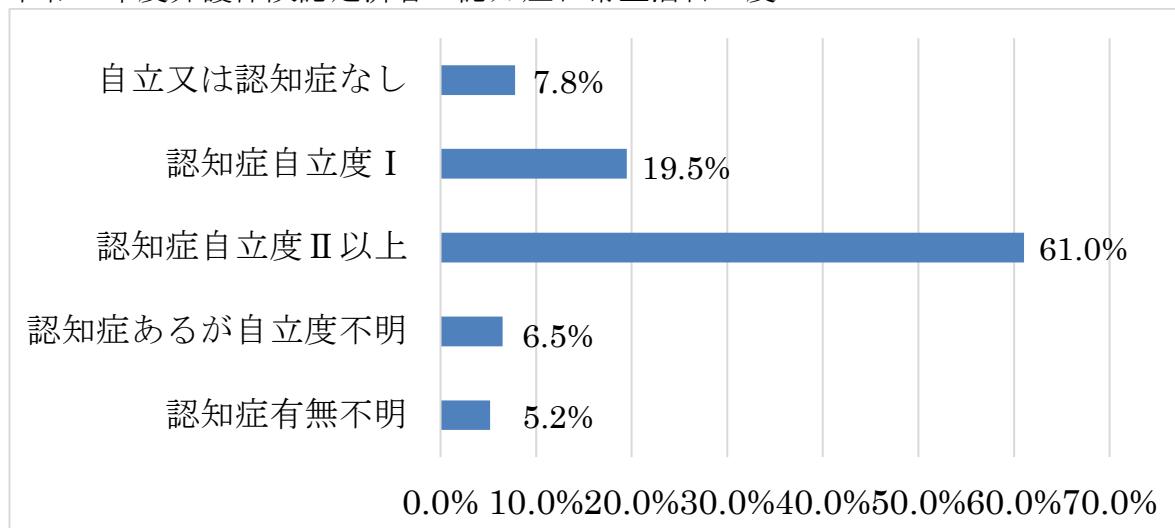
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
被虐待介護保険認定済者	57	74	71	84	77
要支援1	12	8	8	8	9
要支援2	4	7	11	9	8
要介護1	20	24	18	25	19
要介護2	8	13	12	11	14
要介護3	7	8	9	10	12
要介護4	5	9	8	15	12
要介護5	1	5	5	6	3
不明	0	0	0	0	0



⑧ 介護保険認定済者の認知症日常生活自立度

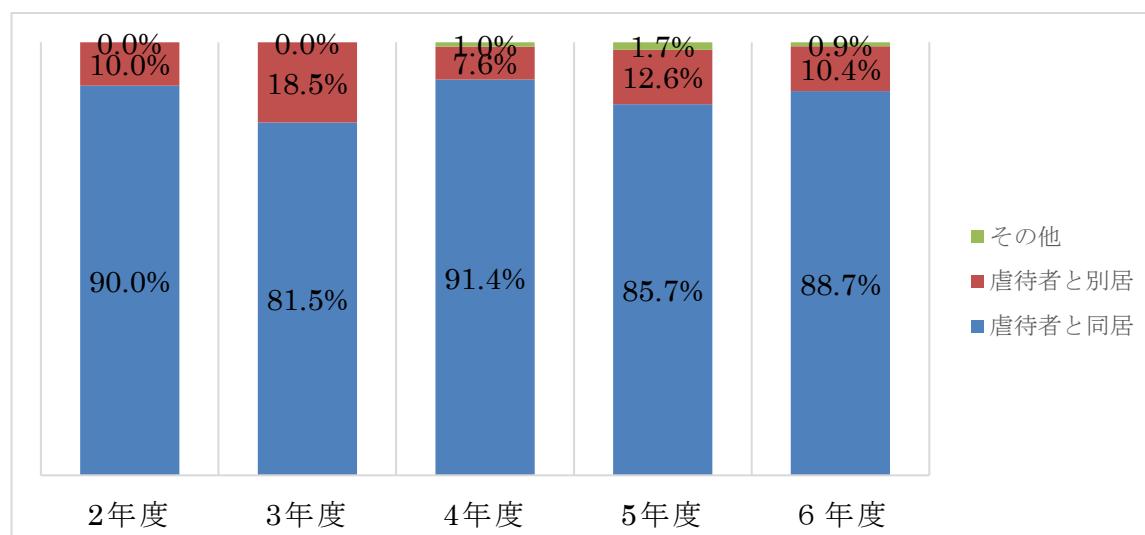
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
被虐待介護保険認定済者	57	74	71	84	77
自立又は認知症なし	5	5	8	7	6
認知症自立度Ⅰ	10	14	8	14	15
認知症自立度Ⅱ以上	35	46	47	51	47
認知症あるが自立度不明	6	7	7	10	5
認知症有無不明	1	2	1	2	4

令和6年度介護保険認定済者の認知症日常生活自立度



⑨ 虐待者との同居・別居

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
虐待者と同居	90	97	96	102	102
虐待者と別居	10	22	8	15	12
その他	0	0	1	2	1
合計	100	119	105	119	115

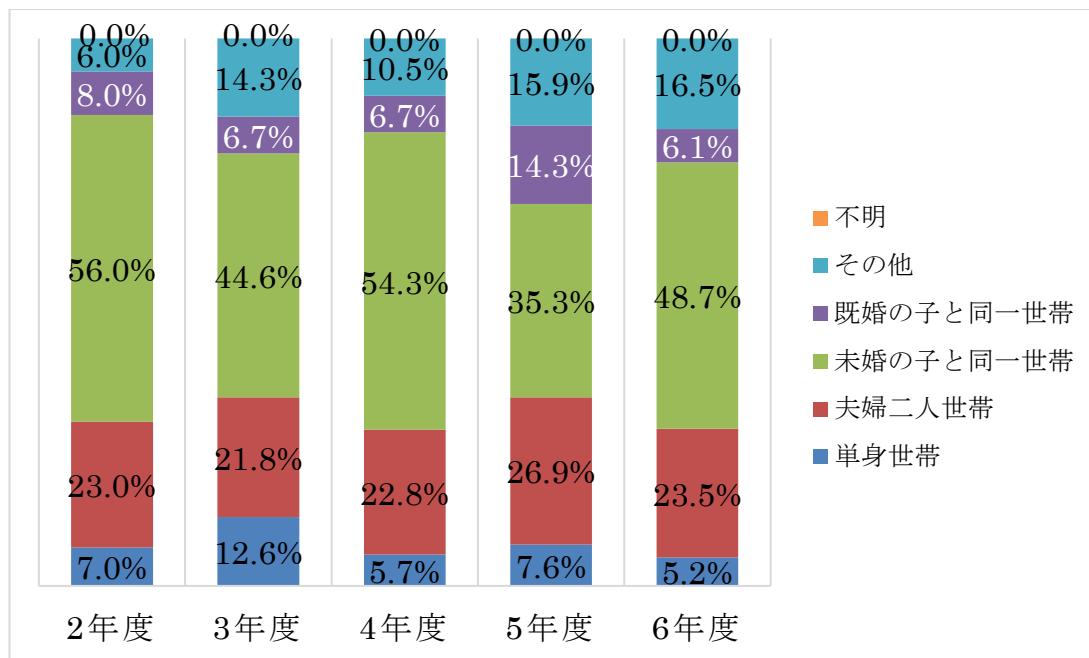


※被虐待者の実数に占める同居状況の人数の割合

6年度の同居の内訳：虐待者とのみ同居 59.1% 虐待者及び他家族と同居 29.6%

⑩ 家族形態

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
単身世帯	7	15	6	9	6
夫婦二人世帯	23	26	24	32	27
未婚の子と同一世帯	56	53	57	42	56
既婚の子と同一世帯	8	8	7	17	7
その他	6	17	11	19	19
不明	0	0	0	0	0
合計	100	119	105	119	115



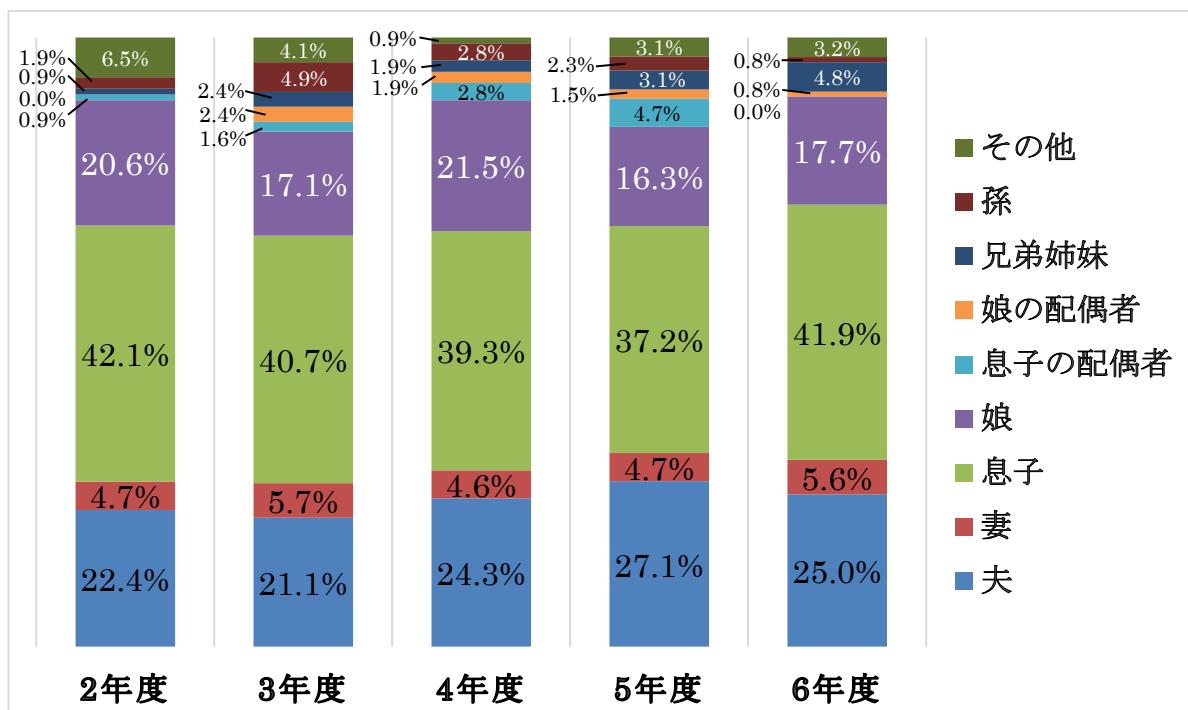
※被虐待者の実数に占める家族形態の人数の割合

6年度の「未婚の子と同一世帯48.7%」の内訳： 配偶者がいたことのない子と同一 41.7%
配偶者と離別・死別等した子と同一 7.0%6年度の「その他16.5%」の内訳： その他の親族と同居 6.1%
非親族と同居 2.6%
その他（既婚及び未婚の子と同居、入院中等） 7.8%

(11) 被虐待者から見た虐待者の続柄

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
夫	24	26	26	35	31
妻	5	7	5	6	7
息子	45	50	42	48	52
娘	22	21	23	21	22
息子の配偶者(嫁)	1	2	3	6	0
娘の配偶者(婿)	0	3	2	2	1
兄弟姉妹	1	3	2	4	6
孫	2	6	3	3	1
その他	7	5	1	4	4
不明	0	0	0	0	0
合計	107	123	107	129	124

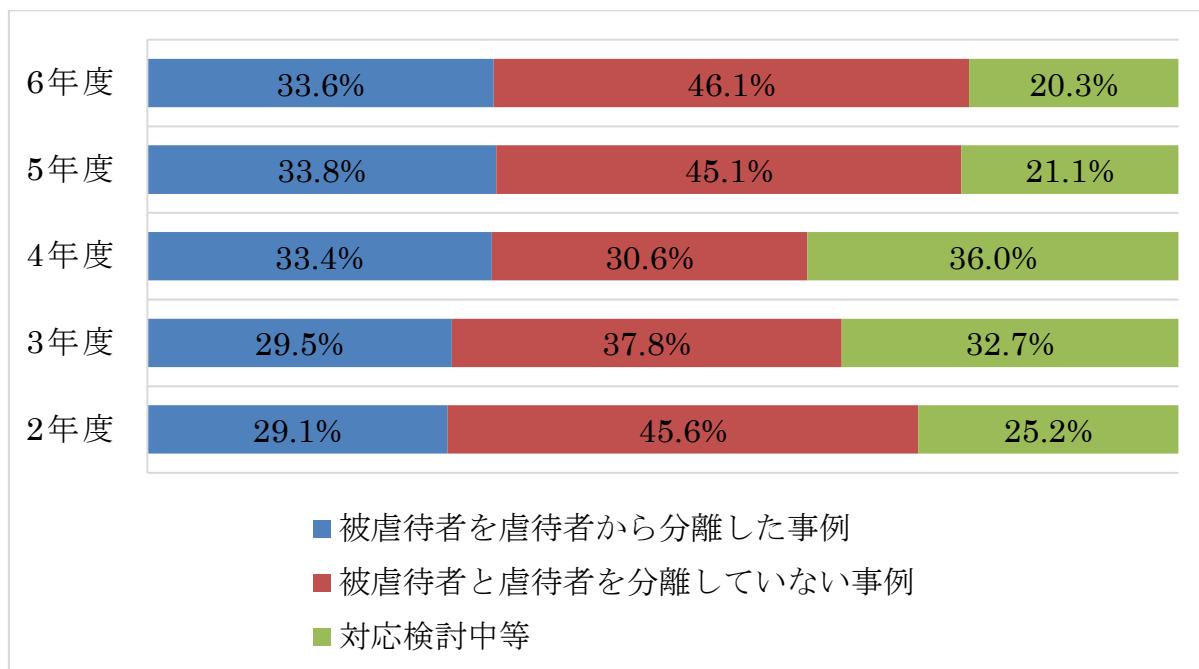
※虐待者の人数は、被虐待者ごとにカウントしたため延べ数



(12) 虐待への対応（分離の有無）

	人数	構成割合(%)
被虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例	43	33.6
被虐待者と虐待者を分離していない事例	59	46.1
現在対応について検討・調整中の事例	1	0.8
虐待判断時点で既に分離状態の事例(別居、入院、入所等)	20	15.6
その他	5	3.9
合計	128	100.0

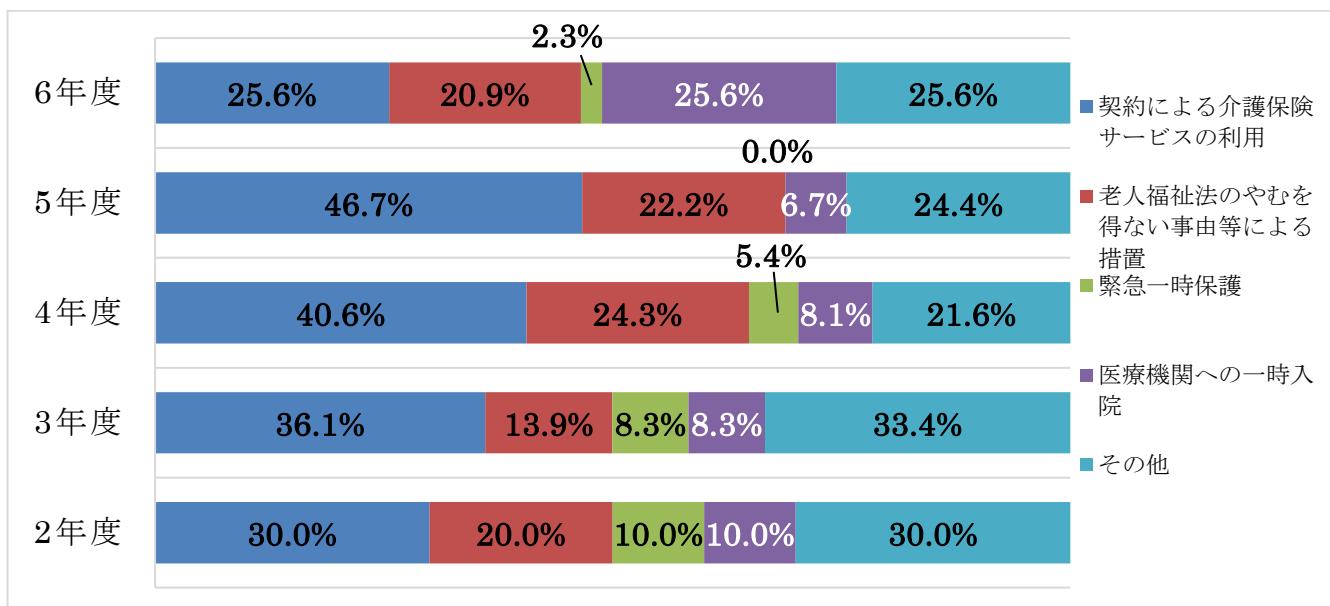
※6年度に対応した事例（令和6年度より前に虐待と判断し、対応が6年度となった事例を含む。）



※対応事例の人数に占める各対応事例の人数の割合

(13) 分離を行った場合の対応内容

	人数	構成割合 (%)	面会制限を行った事例(内数)
契約による介護保険サービスの利用	11	25.6	1
老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置	9	20.9	9
緊急一時保護	1	2.3	1
医療機関への一時入院	11	25.6	0
上記以外の住まい・施設等の利用	4	9.3	2
虐待者を高齢者から分離(転居等)	3	7.0	0
その他	4	9.3	0
合計	43	100.0	13



※対応事例の人数に占める各対応事例の人数の割合

(14) 分離していない場合の対応内容

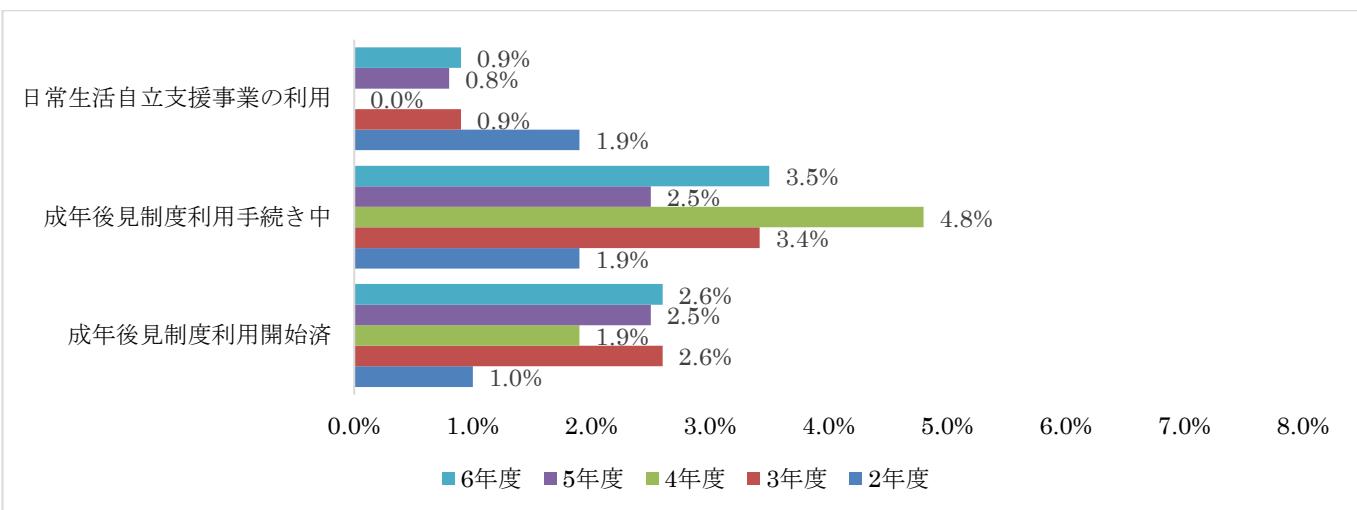
	人数
経過観察以外の対応	
養護者に対する助言・指導	34
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	1
被虐待者が新たに介護保険サービスを利用	8
既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直し	13
被虐待者が介護保険サービス以外のサービスを利用	2
その他	15
経過観察(見守り)	13
合計(累計)	86
合計(人数)	59

※当該年度に対応した事例のうち、分離していない場合の対応内容（複数対応あり）

⑯ 成年後見制度等の利用状況

	人数
6年度以前に成年後見制度利用開始済	1
6年度中に成年後見制度利用開始済	2
成年後見制度利用手続き中	4
(内数)	
市町長申立あり	5
市町長申立なし	1
日常生活自立支援事業利用開始	1

※当該年度の対応事例における被虐待者の人数を集計



(16) 虐待の発生要因（複数回答）

		件 数	構成割合 (%)
虐待者側 の要因	介護疲れ・介護ストレス	67	58.8
	虐待者の介護力の低下や不足	66	57.9
	孤立・補助介護者の不在等	57	50.0
	「介護は家族がすべき」といった周囲の声、世間体に対するストレスやプレッシャー	14	12.3
	知識や情報の不足	65	57.0
	理解力の不足や低下	71	62.3
	虐待者の外部サービス利用への抵抗感	30	26.3
	障害・疾病	36	31.6
	障害疑い・疾病疑い	41	36.0
	精神状態が安定していない	68	59.6
	ひきこもり	12	10.5
	被虐待者との虐待発生までの人間関係	61	53.5
	家族環境(生育歴・虐待の連鎖)	16	14.0
	他者との関係のとりづらさ・資源への繋がりづらさ	51	44.7
	飲酒の影響	9	7.9
	依存(アルコール、ギャンブル、関係性等)	7	6.1
	その他	5	4.4
被虐待者 の状況	認知症の症状	58	50.9
	精神障害(疑いを含む)、高次脳機能障害、知的障害、認知機能の低下	48	42.1
	身体的自立度の低さ	62	54.4
	排泄介助の困難さ	46	40.4
	外部サービス利用に抵抗感がある	18	15.8
	障害・疾病	47	41.2
	障害疑い・疾病疑い	16	14.0
家庭の 要因	その他	5	4.4
	経済的困窮・債務(経済的問題)	44	38.6
	家庭内の経済的利害関係(財産、相続)	17	14.9
	(虐待者以外の)他家族との関係の悪さほか家族関係の問題	45	39.5
	(虐待者以外の)配偶者や家族・親族の無関心、無理解、非協力	36	31.6
その他	その他	3	2.6
	ケアサービスの不足の問題	33	28.9
	ケアサービスのミスマッチ等マネジメントの問題	4	3.5
	その他	4	3.5

(17) 養護者による高齢者虐待による死亡事例（6年度0件）